ドウ・ザ・ライト・シング (1989)

DO THE RIGHT THING

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 120分

初公開日 1990/04/06

公開情報 U n i = U I P

【解説】

スパイク・リー脚本・監督・主演の第4作。舞台は、ブルックリンの黒人街ベッドフォード・スタイベサント。街の小さなラジオ局“ウィ・ラブ・ラジオ”をひとりで切り盛りするミスター・セニョール・ラブ・ダンディのDJがモーニング・コールになって、その年一番の暑さを記録することになった夏の日が始まった。そして物語は、主人公のイタリア人が経営するピザ屋の宅配人ムーキーを軸に、彼の周りの、ヒップな活動家、ストリートの飲んだくれの哲人、ピザ屋を経営するイタリア人親子、小さなスーパーを開いている韓国人の若いカップル、友人達など様々な人種の日常を追ってゆき、その過程で生じるいろいろな問題点を孕みながら、衝撃のラストへと向かって行く……。パブリック・エネミーの“ファイト・ザ・パワー”に乗せて繰り広げられるこの映画は、その奥底に人種問題、政治・経済問題などアメリカが抱える重大な問題意識を抱えながら、そこに監督スパイク・リーの思想・哲学を重ね、強固なテーマを持って展開される。しかし、これだけの要素をかかえた緊張感を維持しながらも、物語は映画に出てくる様々な登場人物たちのスケッチを彼特有のノリのいいセンスでリズムカルにつなぎ合わせてゆき、ユーモアを交えて進行する。そしてその彼らの他愛もない日常の中に潜む、それらの問題点を、独特のカメラワークなどでさり気なく感じさせながら、ラストに一気に露呈させる構造を持ったこの作品は、数あるスパイク・リー作品の中でも最も力強く、抜群のセンスに富んだ傑作である。

【クレジット】

監督	スパイク・リー	Spike Lee
製作	スパイク・リー	Spike Lee
脚本	スパイク・リー	Spike Lee
撮影	アーネスト・ディッカーソン	Ernest Dickerson
編集	バリー・アレクサンダー・ブラウン	Barry Alexander Brown
音楽	ビル・リー	Bill Lee
出演	ダニー・アイエロ	Danny Aiello
	スパイク・リー	Spike Lee
	ビル・ナン	Bill Nunn
	ジョン・タートウーロ	John Turturro
	ジョン・サヴェージ	John Savage
	ルビー・ディー	Ruby Dee
	ロージー・ペレス	Rosie Perez
	オシー・デイヴィス	Ossie Davis
	リチャード・エドソン	Richard Edson
	ジャンカルロ・エスポジート	Giancarlo Esposito
	サム・ジャクソン	Sam Jackson

ジョイ・リー

スティーヴ・ホワイト

ミゲル・サンドヴァル

マーティン・ローレンス

ポール・ベンジャミン

フランキー・フェイスン

ロビン・ハリス

Joie Lee

Steve White

Miguel Sandoval

Martin Lawrence

Paul Benjamin

Frankie Faison

Robin Harris